

# Koriyama West Weekly Report

第 13 回例会 | No. 2832

2025 年  
11 月 5 日(水)

- 会長／鈴木 淳弥 ●幹事／高橋 晋也 ●クラブ広報委員長／森尾 和衛
- 会報・雑誌小委員長／濱尾 博文 ●会報・雑誌小委員会副委員長／石橋 理
- 事務局／〒963-8001 郡山市大町 1-2-17 大ビル 1 階 ☎024-923-0847
- 例会日／水曜日 12:30~13:30 ●例会場／記憶の森 郡山市山崎 305-10

## ゲスト卓話～柏屋 代表取締役社長 本名創氏

開会点鐘 / 国家斎唱 / ロータリーソング「奉仕の理想」

四つのテスト唱和

## &lt;鈴木淳弥会長挨拶&gt;

皆さん、こんにちは。先週の土日、10月 25 日、26 日に浪江ロータリークラブがホストで開催した地区大会に参加してまいりました。これまでクラブからは 18 名が参加いたしました。せっかくですので、何をしてきたかという点や感じたことをお話しさせていただければと思います。



1 日目は地区大会会長として、勉強会を含めた議事を行い、その後に地区リーダー・ラーニングセミナーを開催しました。来年のセミナーに関しては、東京中央ロータリークラブに所属している元 CA (キャビンアテンダント) でもある方がご講演いただきました。この方のポリオワクチン活動に関する講演がありました。秋山由美さんという方で、長年にわたりポリオの根絶活動を行ってこられた活動の紹介がありました。ポリオがどのようなものか不明な点があったため、改めてポリオの説明をしたいと思っています。

ポリオは、ポリオウイルスによる脊髄性麻痺ウイルス感染症です。発症すると回復せず、治療法がないため、5 歳以下の子供が感染しやすいというのが概要となります。症状はそれほど強くなく軽症ですが、100 人に 1 人は麻痺を起こしてしまい、手足が動かなくなったり、固定されて歩けなくなったりすることがあります。麻痺を起こすと一生治らない病気です。治療法がないため、唯一の防ぐ手段はワクチンによる予防接種です。この接種活動をロータリーが長年に行なってきました。現状として、1985 年には年間 35 万人が発症していましたが、ロータリーを中心となり、WHO、ビルゲイツ財団と連携して、ワクチンの供給活動と啓蒙活動を続けてきました。そういった約 40 年の活動を経て、今では 99.9% の根絶にまで到達しています。現在、アフガニスタンとパキスタンの 2 カ国でまだ感染が続いている、ロータリーはこの撲滅に向けて、力を入れて根絶を目指す活動を行っています。

現在、ロータリーのポリオ根絶活動がノーベル平和賞に値するのではないかと言われており、受賞に向けて様々なロビー活動や働きかけがあります。

秋山さんが 2017 年にインドを訪問した際、震えにかかり、足が曲がった状態で路上で物乞いをしている子どもたちを目にしたそうです。

その状況を見て、この現状を変えなければならないという思いから、年に何度もインドやパキスタンを訪れ、ワクチンを口から投与する接種活動を続けてこられたと伺いました。

夜は RI 会長代理歓迎晩餐会が行われました。浪江の『波音』という太鼓の演奏があり、その後、二次会では参加メンバーで楽しい時間を過ごしました。

大会 2 日目を迎えて、メインイベントは記念講演でした。県内で有名な建築家で、火と風と光を生かした建築で知られる隈研吾さんの講演で、主に日本だけでなく世界を中心とした事例の紹介がありました。最後に、浪江で計画されている、再生可能エネルギーと循環型のまちづくりをテーマとしたプロジェクトがあり、2027 年完成に向けて隈研吾さんの設計で進められているというお話をありました。このような形で、ロータリーに関する慈善活動や、ロータリアクションなどの若い方々の取り組み、米山記念奨学事業の取り組みも含めて、改めてロータリーの意義について考えさせられる大会でした。今回 18 名の参加でしたが、来年は多くの方に参加していただき、何かを感じていただければ幸いです。

最後になりますが、滝田さんは本日ご欠席ですが、今回商工会議所の副会頭にご就任されたと伺っております。西から出てきたということは喜ばしいことだと思います。

## &lt;米山記念奨学会 功労者感謝状贈呈&gt;

七海正克会員への感謝状の贈呈

毎年 10 万円を 15 年間継続してご寄付いただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



## &lt;出席報告&gt; 金田岩光 出席小委員長

会員数／41 名 出席者数／25 名

欠席者数／16 名 出席率／61.00%

前回出席率／100.00%

## 【他クラブ出席】

- 10/21(火) 郡山東 RC 伊東孝弥
- 10/30(木) 郡山 RC 伊東孝弥



## &lt;11 月結婚・誕生日報告&gt; 宮本孝 親睦活動小副委員長

伊東孝弥 S62. 11. 23

宮本 孝 S61. 11. 23

&lt;結婚記念日&gt; 遠藤雄一 S57. 11. 20

土井将照 H 5. 11. 21

樽川 啓 H11. 11. 6

安齋 晃 H14. 11. 30





安藤元二 S26.11.8  
柿沼雄二 S38.11.1  
今泉雄二 S48.11.13  
天間睦美 S46.11.9



## <ニコニコ BOX 報告> 丹生修一郎ニコニコ BOX 副委員長

高橋金一会員 創社長のお話楽しみにしています。先日は結婚記念日のきれいなお花ありがとうございました。／関根英樹会員 本名さんのお話楽しみです。ドジャース優勝おめでとう！／鈴木淳弥会長 本名さん卓話楽しみしております。／高橋晋也幹事 創さん卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。／濱尾博文会員 本名社長卓話楽しみにしています。／伊東孝弥会員 先月は蛇の鼻BQでご来園ありがとうございました。創さん今日よろしく。／森尾和衛会員 卓話お世話になります。／満井紀勝会員

本名創様あまーいお話を楽しみたいと思います。／乾敦史会員 卓話楽しみにします。／宮本孝会員 本名社長ご苦労様です。／金田岩光会員 本名創さんの卓話期待して。／鈴木茂会員 薄皮まんじゅうは日本一おいしいと思います。／今泉雄二会員 昨年は移動例会のため名前を呼ばれませんでした。ちなみに木村拓弥と同じ誕生日です。／蜂谷雅俊会員 本名社長卓話楽しみにしております。／柳沼克彦会員／遠藤雄一会員／鈴木功一会員／村上博人会員／石田弘会員／土井将照会員／佐藤克敏会員／阿部治江会員

## 今週のニコニコ大賞 伊東孝弥会員



先月のB B Qで大変美味しいお肉ごちそうさまでした。  
丹生ニコニコBOX委員長の代理として阿部会員が発表。

## <ゲスト卓話>

### 柏屋 代表取締役社長 本名創氏

皆さん、こんにちは。お昼ご馳走様でした。とても美味しかったです。麻婆豆腐が、これまでに見たことのない形で出てきて驚きました。本日お招きいただきまして、誠にありがとうございます。宮本氏から最初にお話をいただいた際、何を話そうかと悩みました。諸先輩方に対してお話しできるようなことが何かあるだろうかと考えたのですが、相談しました。何を話したらよいでしょうか、と尋ねたところ、これまでの経験とこれから展望について話したらよいのではないか、というアドバイスをいただきました。そこで、何をどのように伝えようかと考え、本日のテーマを『柏屋の不易流行』といたしました。



柏屋ですが、実は家訓が200ほどあります。非常に多いです。すべてを覚えるわけにはいかないため、その中の31項目を日めくりカレンダーにし、毎朝朝礼で読み上げるようにしています。その中に入っている言葉の一つが『不易流行』です。



少しご説明させていただければと思います。簡単に私のプロフィールも紹介させていただきます。名前は本名創と申します。菓子屋の柏屋としては6代目、本名家としては21代目となっています。

座右の銘は『暖簾は革新』です。これも弊社の家訓の中に入っている言葉です。後ほど解説しますが、『暖簾は守るものではなく、塗り替えるものだ』という家訓でございます。創業当時のものをただ守り続けるだけでは、暖簾を守ることはできないと私も教えられてきました。

暖簾で守るべきものは信用である、ということです。お客様が求めるニーズは時代とともに変化するため、暖簾は守るものではなく塗り替えるもの、本当に守るべきは信用である、ということを私の座右の銘としております。

柏屋は福島県郡山市に本社を置いております。創業は1852年、現在174年目になります。代表銘菓は『薄皮饅頭』で、日本三大饅頭の一つとなっております。1852年といえば、翌年の1853年にペリーが来航した年ですので、その1年前の創業です。日本三大饅頭の残り2つも気にならるると思い、ご紹介いたします。一つは、塩瀬総本家の『志ほせ饅頭』です。こちらは創業は1349年で、もうすぐ700年になります。現在の当主が36代目で、20代、70代くらいの方だそうです。塩瀬総本家の初代は、日本にお饅頭を伝えた人物です。林淨因様という中国の方です。

塩瀬総本家は元々は京都にありましたが、現在は東京築地の聖路加病院のすぐ近くにございます。

もう一つは『大手饅頭』です。

大手饅頭屋さんの名前は『大手饅頭伊部屋（おおてまんじゅういんべや）』と読みます。この右側の饅頭が大手饅頭で、創業は天保8年（1837年）、もうすぐ190年になります。柏屋が174年目ですので、日本三大饅頭の中で3番目の創業となりますね。



先ほどタイトルに掲げた『不易流行』という言葉ですが、ご存じの方も多いかと思いますので、改めて説明することも躊躇われますが、不易とは『変えてはいけないこと』、流行とは『変えなくてはいけないこと』を指します。

これは先ほどの『暖簾は革新』という話と通じるものがあります。信用は守らなければなりません。これは変えてはいけないことなのです。

『美味しい』、『安全である』、『約束を守る』といった、変えてはいけない信用こそが『不易』です。一方、『流行』は時代とともに変化していくものです。これに対し、今何をするべきかという判断を誤ってしまうと、暖簾は長く続いているかない、ということです。

『美味しい』、『安全である』、『約束を守る』といった、変えてはいけない信用こそが『不易』です。一方、『流行』は時代とともに変化していくものです。これに対し、今何をするべきかという判断を誤ってしまうと、暖簾は長く続いているかない、ということです。

初代から私の父である5代目まで、様々な時代に合わせた革新を行ってきてくれたおかげで、今、柏屋が存在しています。しかし、先代たちが成し遂げてきたことがあまりにも大きすぎて、私は何をすべきかということをずっと考えてきました。

初代は、もともと仙台藩の武士の次男だったそうです。奥州街道を歩いている時に、当家は元々畠小屋を営んでおり、その1階で茶屋をやっていました。そこを通りかかった初代が、ご先祖様に一目惚れして『婿入りしたい』と申し出たのが始まりで、一目惚れから始まった甘い話の饅頭屋です。その際、『京都に行ってお菓子の勉強をしてきなさい』と言われ、京都に修行に赴きました。京都で覚えてきたのは、当時東北では珍しかった漉し餡の製法です。漉し餡は東北になかったもので、他に競合がない状態で始めたため、『面白いものができたぞ』と評判になり、お客様に使っていただけるようになりました。2代目はその伝統をしっかりと守り継ぎ、3代目は第二次世界大戦中に店主を務めていました。その頃、企業整備があり、菓子製造を続けられなくなった時期があります。

戦前のお饅頭は実は白い饅頭だったのですが、戦後菓子屋を再開できるようになった際、白い砂糖が手に入らなかつたため、黒糖を使った饅頭を作つたそうです。そうしたところ、その方が硬くなりにくく、風味も良い饅頭ができたということで、現在の茶色い饅頭が生まれたのです。これが大きなターニングポイントとなり、よりお客様から喜ばれるようになりました。大変売れて忙しかったそうです。

父は『機械で作る饅頭も美味しいね』と言っていただいていたものの、『手作りの方が美味しいね』と言われることが嫌でした。そこで、『手作りより美味しい饅頭を作りたい』と考え、製造ラインを組み直すことで、美味しい饅頭を作ることができました。このように初代から5代目まで、かなり素晴らしいことを成し遂げてきているなと思い、社長になる前もなつてからも、何をすべきかずっと考えていました。そこで、信用を失わない範囲であれば、とりあえず色々とやってみようと考えました。この4年間で実施してきたことの一部をご紹介します。柏屋の賞味期限が伸びた件について、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません、元々日持ちするお菓子でした。これをさらに伸ばすことができれば、より遠方のお客様にもお届けでき、お土産として購入されたお客様にも長く楽しんでいただけるだろうと考えました。



また、配る際にも便利になるのではないかということで、賞味期限を延長する取り組みを行いました。その他にも、会議体系を変更して社員が休みやすい環境を整えたり、様々な企業や文化とのコラボレーションを実施したり、SDGs宣言の時期に合わせた商品を発売したり、新学期や収穫感謝祭での取り扱い商品を拡大したりと、多岐にわたる取り組みを行つていきました。

最後に、流行を変える、変えなければいけないことについてですが、弊社の『我々の星座』という社是があります。これは50年以上前、祖父の弟にあたる専務と、弊社が発行している子供の詩集『青い窓』の代表をされていた佐藤先生という方が作られました。最近、その佐藤先生の著書『広がる編みものの歌』が廃盤になっていたのですが、この度復刊し、出版いたしました。

まだ店頭には置いていませんが、復刊いたしましたので、今後ご案内できればと思っております。このお二人が作成したもので、当時の『経営理念』や『社是』といった単語はなかった頃だと思いますが、経営の指針が欲しいという思いから、船乗りが星座を頼りに目印のない海を航海することになぞらえ、『我々の星座』という名前になりました。それでは読み上げさせていただきます。『我らは優れた食品と限りない幸福を社会に提供する。我らは人間の未来を信じ、人間性を尊重する。我らは成長に基づく創造力を常に啓発する。我らは誠意と協力をもって業務を遂行する。我らはより幸福な生活のできる会社を築き上げる。』

この5カ条が、守るべき信用の礎となっている指針でございます。拙い話ではございましたが、私の発表は以上でございます。ありがとうございました。



質疑応答タイム



## <本日のランチ>

- ・肉どうふ
- ・さわら西京焼
- ・かぼちゃコロッケ

